

今日のトピック

最近の指標から見る豪州経済（2016年11月）

資源価格の持ち直しから豪ドルは底堅い展開へ

ポイント1 家計部門は堅調を維持 増加傾向にある求人件数

- 2016年10月の雇用者数は前月比1.0万人の増加となりました。雇用統計は月ごとの変動が激しいため、変動を均した政府公表のトレンド値をとると、同0.1万人減となります。トレンド値は5月の1.2万人増をピークに鈍化傾向にありますが、景況感指数は依然として企業の採用意欲が強いことを示唆しています。実際に求人広告件数は増加傾向を示しており、雇用は今後、緩やかに持ち直す見通しです。一方、失業率は前月比横這いの5.6%でした。
- 雇用の改善を背景に、小売売上高は概ね前年同月比3%の伸びを維持しています。

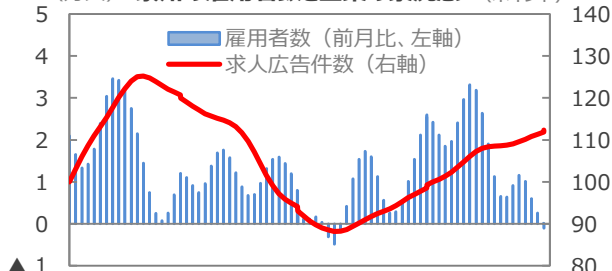
ポイント2 政策金利は据え置き 堅調に推移する国内景気が背景

- 豪州準備銀行（RBA）は11月1日に開催した金融政策決定会合で、政策金利を1.50%に据え置くことを決定しました。消費者物価上昇率は、RBAの目標である+2%～+3%の下限を下回った状態が続いているものの、失業率の改善が示す通り国内景気が底堅さを保っているためです。今後についてもRBAは、堅調な国内景気を支えに、当面のところ政策金利を据え置く公算が大きいと考えられます。

今後の展開 資源価格が豪ドルを下支え

- RBAは緩和的な姿勢ですが、①中国での需給改善等から、鉄鉱石など資源価格が持ち直してきた、②トランプ次期大統領の拡張的な財政政策により米国、ひいては世界経済の拡大が見込まれるなどを踏まえると、豪ドルは底堅い展開が予想されます。

(万人) 豪州の雇用者数と企業の景況感 (ポイント)

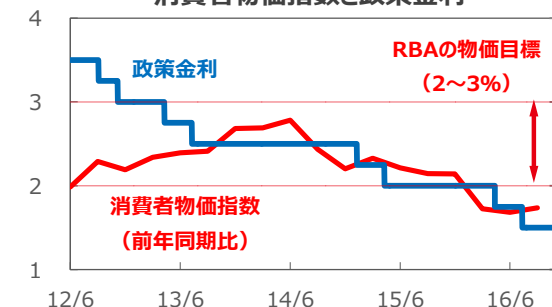


▲ 10/1 11/1 12/1 13/1 14/1 15/1 16/1 (年/月)

(注) データ期間は2010年1月～2016年10月。雇用者数は政府公表のトレンド値。求人広告件数はオーストラリア・ニューズランド銀行が作成。2010年1月=100として指数化。

(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(%) 消費者物価指数と政策金利

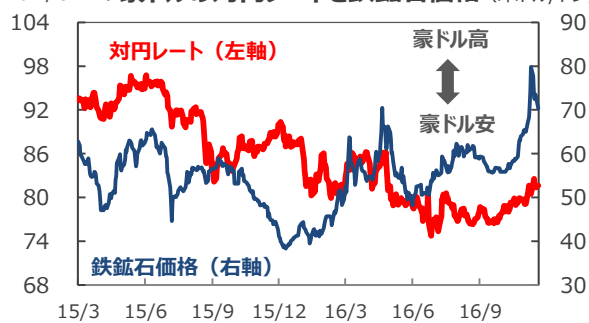


(注1) 消費者物価指数は2012年4-6月期～2016年7-9月期。消費者物価はトリム平均値。

(注2) 政策金利は2012年6月30日～2016年11月21日。

(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(円/豪ドル) 豪ドルの対円レートと鉄鉱石価格 (米ドル/トン)



(注) データ期間は2015年3月2日～2016年11月21日。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも チェック!

2016年11月 1日 豪州の金融政策は据え置き (2016年11月)

2016年10月 27日 最近の指標から見る豪州 (2016年10月)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。